

# かわにし

給食？  
うまいよ！



特集 地域がつくる給食…2  
これが町のふところ具合！…6  
真剣に考えよう合併について…8  
おめでとう 米寿…12

人口の動き	
—10月1日現在—	
男	3,971 (-6)
女	4,033 (-7)
計	8,004 (-13)
世帯数	2,283 (-1)
( ) は前月比較	



## 特集 地域がつくる給食



「なかなか同じ大きさのものがそろわなくてね」という櫃間さん(右)

学校給食が見直されてきています。

パン食一辺倒だった10数年前から米飯給食主流に変わり、それも地元産のコシヒカリを使うようになりました。肉や鮮魚も地元から仕入れて新鮮な「地域の味」を届ける取り組みが続いています。

また、このほど販売空間内に農産物等の直売所が設けられたことに伴い、出荷者の構成員のうちから学校給食に野菜を供給するチームが組織され、9月から本格的に野菜を供給しています。その一端をのぞいてみました。



夏野菜がたっぷり入ったカレー



給食室の一角には、その日使った地元野菜が紹介されています



次の企画を練る保坂さん（左）と鈴木さん（右）



下ごしらえもスピードが命です



食材検収は入念に行われます



給食時間までに各学校に搬入します

## じろばたから給食へ

朝八時過ぎ、川西中学校に隣接する学校給食センターに、食材を納品する車が入ってきました。早速搬入口で、納入者と給食センター職員が納品物品の検収（チェック）を行います。

「えーと、あ、しょうがは？」、「次の便で届きます」、「八時半までお願いします」、「わかりました」。

「おはようございます」と、次に軽トラックで野菜を運んできたのは、九月から営業を始めた農産物直売施設「じろばた」に参画する千手直売施設管理組合（高橋芳江組合長）に所属する櫃間文代さん。櫃間さんは、同組合のうち学校給食のために農産物を出荷する担当農家の一人で、この日は、カボチャとピーマン、ナスを納品しました。これも早速数量と品質のチェックが行われ、検収を受けた食材はすぐに下ごしらえの作業にまわされます。そして、ここから学校給食づくりの流れが一気に動き出します。

## 里芋はうまくいった

現在、学校給食センターに納められる食材は大きく分けて

米、魚、肉、牛乳、くだもの、乾物等、そして野菜があります。

このうち、米は川西町主食組合・JAが、魚は川西町鮮魚組合が、肉は川西町精肉組合が、指定冷凍食品や缶詰、牛乳は学校給食会ほかそれぞれ納めています。

野菜については、最近まで青果市場に出されたものを商店経由で納入していましたが、今年九月から一部地元農家が育てたものを千手直売所管理組合から仕入れています。

その理由について、学校給食センターの保坂久代係長は次のように語ります。

「昨春秋、一度試しに里芋を仕入れてみたところ、そのおいしさに打たれました。これをぜひ子どもたちに味わってほしいと思いました」。

もともと、給食での地産地消は田口町長の強い思いもあり、平成十三年度から週四回一〇〇パーセント川西産コシヒカリの米飯給食に移行しました。そのほか、みそや大豆、きのこ類も川西産でまかっています。

しかし、野菜については、均質な品質を安定的に供給できるシステムが町内では確立していなかったため、これまで一部を除いて見送られてきました。それでも、「多少のリスクは

あっても、作り手の顔が見える安全でおいしい野菜を使いたい」（保坂さん）という思いと、直売所開設のタイミングが一致して、試行期間を経て九月からの本格実施となりました。

こうした取り組みから、米以外の地元農産物の使用割合は、平成十四年度が〇・七パーセントだったのに対して平成十五年度が五・一パーセント、平成十六年度は二〇パーセントに達する見込みです。

## お月見メニューも

地元産の野菜を使つてのメニューづくりや食育指導にも工夫が求められます。

そのあたりを鈴木代里子栄養士は、「まず、地元の野菜のおいしさをわかってもらいたいのので、カレーの中に地元野菜をたくさん入れたら、郷土食メニューを取り入れて季節ごとの特色を出そうとしています」と、「給食だより」なども活用しながら様々な取り組みを進めています。

実際、中秋の名月（九月二十八日）にはくりごはんやキノコ汁、サラダ、満月に見立てたスコッチエッグ、やはり杏を月に見立てたデザートなどを配した「お月見メニュー」を用意して

好評を博しました。

給食調理の現場でも、地元野菜を多く使ったメニューにはそれなりの対応が必要です。

例えば、「野菜は下ごしらえに時間がかかりますし、ゆでる作業でも種類が違えば時間も違いますので、それなりに順序よく作業を進める必要があります」と、給食調理員の小林ミサ子さんは、時間が限定されている中で作業の工夫を話します。また、「野菜に限らず給食調理で気を使うところは」との問いに、同調理員の若月四郎さんは、「調理の上では食中毒を出さないこと、作業の上ではけがややけどをしないこと、特に転倒しないように気をつけています」と水を使う環境での作業のポイントを語ります。

作業の危険性を軽減するため、今年度からは床を滑りにくい素材に改修したり全体をドライ化するなど、環境の改善も図られています。

## いいものを選びすぎて

一方、野菜を供給する農家の対応はどうでしょうか。

学校給食出荷者代表の水晶直子さん（49・新町新田）にうかがいました。

「現在、町内の女性二十四人で事業に取り組んでいます。最初この話が来たときは、正直言って『難しいな』と思いました。というのは、朝八時半までに納入して、追加などがあつた場合は二〇分以内に対応しなければならぬなど時間の縛りがきついです。これは誤解だったんですが、少品目を大量に納めなければならぬのかと思つたからです。私たちが直売所で取り組んでいるのは少量多品目ですが、よく話を聞いてみたら、六五品目くらいは学校給食に使えるということが分かつたんです」と、納得した上で野菜の供給を決めました。量についても、みんなで持ち寄ることで解決しました。

「実際、農家にとつて自分たちで食べきれない野菜を捨てることは忍びないです。それが少しでもお金になるんだから、ありがたい話です。ただ、一番夏野菜がとれる時期が夏休みなのが残念ですけど（笑）。

それに、直売所ではお客さんが一個一個品定めして買っていきますが、給食センターではそのまま買ってもらえます。その分いいものを選びすぎて納めていきたいと思つています」と意気込みも新たです。

苦勞している点は、「品質の均一化ですね。まだ、私たちの栽培技術のレベルがそろっていないからです。お客さんからのクレームは辛いことですが、自分たちのためになることです。で、しっかりと受け止めて、次の栽培に生かしていこうと思つています」ということで、J A や農業改良普及センターとも連携しながら、栽培技術の向上に取り組んでいます。

## うちの野菜と同じ

こうして始まった地元産野菜を使った給食ですが、実際に食べている生徒の反応はどうでしょうか。川西中学校の生徒に聞いてみました。

地元の野菜を使っていることについては、給食室の入り口には生産者の写真とその日使った野菜を展示してあるためか、ほとんどの生徒が知っていました。

野菜の味についての感想です。「（今までの野菜との違いは）あんまりわかんないけど、おいしいことはおいしい。（一年生男子）

「おかずによつて違う。残すときもあるし全部食べるときもある。（一年生女子）  
「みんなおいしいと思うけど、やっぱりゴーヤは苦い！」。（ゴー

野菜は調理時間がかかりますが一人ひとりが手際よく進めます



給食に提供するようになって、野菜に対する考え方が変わってきたという水晶さん



衛生と事故防止に特に注意しているという若月さん（左）と小林さん（右）

# 特集 地域がつくる給食



紙芝居を使った食育指導  
(上野小)



「残さないよね」  
「あたりまえです！」  
(川西中)

「いただきます！」  
(橘小)

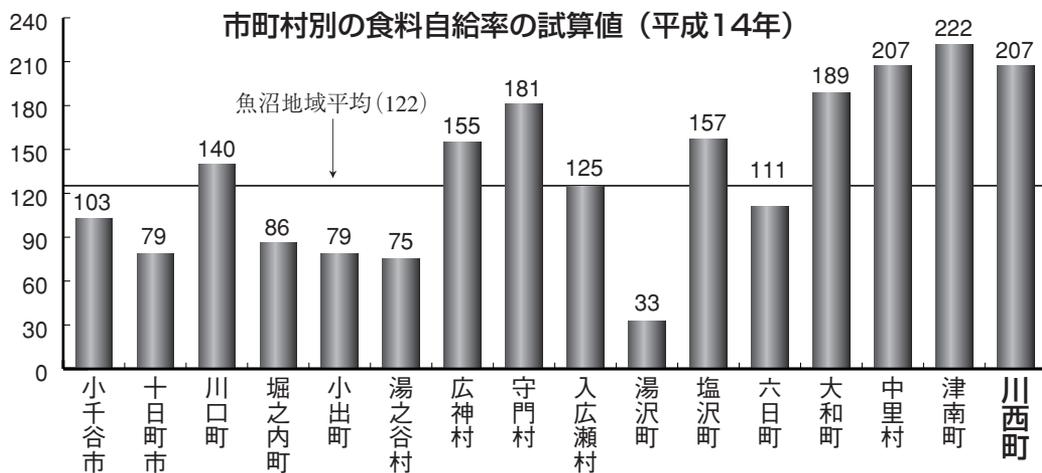


ヤ入りカレーを食べながら／二  
年生女子  
「うちの野菜と同じ感じで、  
違和感がない」。(三年生男子)  
概して生徒からは好評のよう  
です。橘小学校の児童からも感  
想を聞きましたが、ほとんどの

児童が「おいしい」と答えてい  
ました。

学校給食に限らず、地域でと

## 自給率二〇七%を生かそう



注：市町村別の食料自給率は、住民1人1日当たり地産供給熱量(品目別)を、住民1人1日当たりの供給熱量(食料需給表から)で割って、算出しています。「魚沼通信」(北陸農政局小出統計・情報センター編)より

れたものを地域で消費する「地産地消」の流れは、ここ数年少しずつ広がってきています。その流れを確実なものにし、地域の中に広げていくためには、「農家と家庭、それに学校が連携し、地域の応援団のような人たちを増やしていけるかどうかにかかっています」と保坂さんは指摘します。

農業振興を担当する農林振興課でも、「直売施設のオープンと学校給食での取り組みがタイミングよく一致したことが、今後の弾みになります。こうしたことをきっかけに、地産地消の動きが一層大きく育っていったほしいと思います。町でもそのための施策をいろいろと展開しています」とこれらの動きに大いに期待を寄せています。

魚沼地域の食料自給率は二二パーセント(平成十四年/グラフ参照)で、新潟県平均の九八パーセントを大きく上まわっています。とりわけ、川西町(二〇七パーセント)をはじめとする中魚沼郡の三町村は自給率が高く、すべてが二〇〇パーセントを超えています。

私たちの地域がこうした食料資源を持っていることを自覚した上で、地域ぐるみで「食」を考える活動が重要になってきています。

# これが町のふところ具合！



## 平成 15 年度 決算

平成十五年度の町の決算が、九月十六日の議会定例会で認定されました。

このうち、一般会計の概要についてお知らせします。

歳入は、五五億三千万円で、前年度より七千万円増とほぼ横ばいでした。歳出は、五一億六、二八四万円で、前年度より一、三七八万、率にして〇・三%とわずかに増えました。

歳出予算の執行率は九五・一%で、実質収支は三億三、七五四万円となっています。

歳入は、町が自らの手で徴収することができる「自主財源」と、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

自主財源には、町税、負担金、使用料、手数料、寄附金などがあり、依存財源には地方交付税、国県支出金、町債などがあります。

歳入全体における自主財源の比率は三二・六%で、前年より〇・九ポイント減っていますが、これは、繰越金の増に比べ町税、基金繰入金などの減が上まわったためです。依然として、依存財源の占める割合が大きい状況には変わりありません。

次に、歳出で特徴的なものを見てみます。最も増減額が大きかった繰出金

については、一般会計からの繰出金の一部を国民健康保険特別会計からの繰出金としたことなどにより、国民健康保険診療所特別会計への繰出が減額され、また、医療保険制度の大幅な改正に伴い、老人保健特別会計への繰出金が減額となったことなどにより、総額では前年度に比べて一八・七%減の五億二、二九二万円になっています。

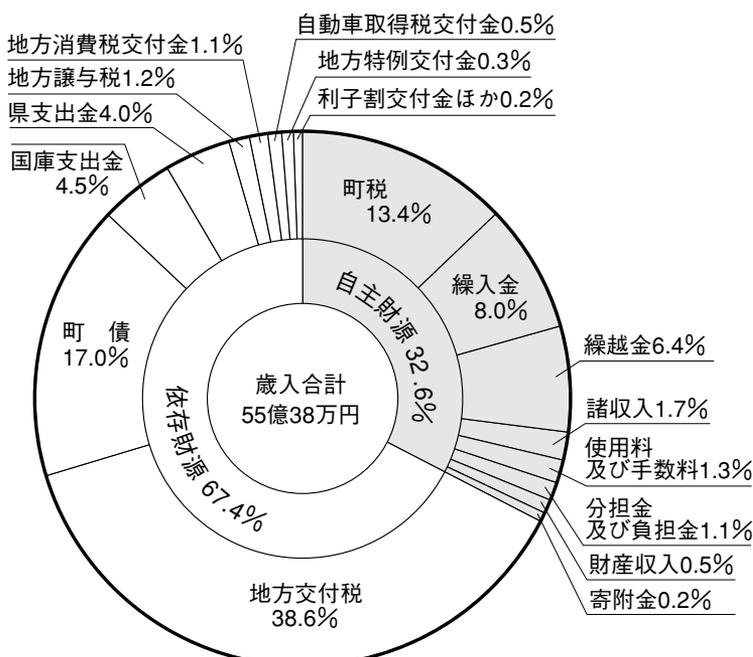
扶助費については、これまで町の負担がなかった知的障害者への措置費に代わり、支援費制度が創設されて一定の町負担が義務付けられたことにより、総額で前年度対比五一・九%増の二億三、〇一六万円になっています。

人件費については、前年度に比べて職員が四人減となったほか、エコタウン推進事業や賑わい空間創出事業などで、普通建設事業費扱いとする職員人件費の割合が、事業費に応じて前年度より増加したことなどから、前年度対比六・八%減の九億四、三三二万円となっています。

町財政の現状は、厳しい財政運営に追い打ちをかける三位一体改革による交付税の削減などにより、ついに赤信号が点灯したといえそうです。

平成十五年度決算の目的別歳出の内訳は次ページのとおりです。

### 一般会計 歳入



### 特別会計 決算

特別会計	種別	金額
国民健康保険	歳入	6億7,271万円
	歳出	6億4,543万円
国民健康保険診療所	歳入	2億2,760万円
	歳出	2億2,415万円
老人保健	歳入	9億9,943万円
	歳出	9億9,873万円
簡易水道事業	歳入	996万円
	歳出	986万円
下水道事業	歳入	4億704万円
	歳出	4億24万円
介護保険	歳入	5億883万円
	歳出	4億8,425万円

●議会費

7,664 万円 (1.5%)

定例会 13 日、臨時会 2 日をとおして 90 件の案件を審議したほか、各委員会で付託事件を審査するとともに、先進地行政視察などを行い、まちづくりや市町村合併等の課題について調査・研究しました。



合併協議会設置議案を賛成多数で可決

●総務費

5 億 5,443 万円 (10.7%)

人事、庶務、財政、交通安全、広報などの各分野での対応や、まちづくり、広域事業、市町村合併、電算処理、税務、戸籍、選挙など多岐にわたる業務に要した費用です。

●民生費

7 億 4,176 万円 (14.4%)

介護予防拠点施設(福祉センター)整備事業費の占める割合が大きく、社会福祉、障害福祉、高齢福祉などのほか、保育、児童手当、国民年金などの業務を進めるために要した費用です。

●土木費

10 億 212 万円 (19.4%)

道路や水路の新設や補修工事、消雪パイプや流雪溝の整備、道路除雪、都市計画や町営住宅に関する費用のほか、千手中央コミュニティーセンター整備など賑わい空間整備事業などが主なものです。

●労働費

1,724 万円 (0.3%)

十日町地域シルバー人材センターに委託して実施する業務がほとんどで、役場庁舎や総合センター、総合体育館などの宿日直業務、公園の草刈りなどがあります。

●農林水産業費

4 億 3,051 万円 (8.3%)

稲作や野菜などの農業振興のほか、林業振興、畜産振興、集落環境整備、農地の移動・管理などがあります。県が実施する水辺公園整備への負担金も含まれています。

●商工費

1 億 8,261 万円 (3.5%)

商工業の振興、観光振興などが主なものですが、大地の芸術祭など、広域事業として実施している里創プラン事業も負担金として支出しています。

●衛生費

7 億 7,227 万円 (15.0%)

健康増進施設(健康プール)整備事業費の占める割合が大きく、住民検診や予防接種、母子保健、老人保健など、健康と保健に関する業務のほか、有機センター建設を含む環境衛生の分野も含まれています。



今年 7 月にオープンした「ひだまりプール」

●消防費

1 億 7,414 万円 (3.4%)

十日町地域広域事務組合への負担金として支出されました。町内での平成 15 年の火災は 4 件、西分署の救急車出動は 239 回ありました。また、消防団員は 339 人となっています。

●教育費

4 億 1,681 万円 (8.1%)

学校教育、社会教育、社会体育、学校給食などの教育行政推進に要する費用が主なものですが、心の教室事業、山村留学など特徴的な事業も含まれています。



夏の恒例行事となった「自然こども村」

●災害復旧費

633 万円 (0.1%)

融雪や豪雨による災害で、道路 1 件の復旧事業が実施されました。融雪の場合は一日 200 mm、豪雨の場合は 24 時間最大雨量が 80 mm 以上が採択の基準になります。

●公債費

7 億 8,798 万円 (15.3%)

各種施設の整備工事を実施する際に町が借り入れる起債(借金)の元金や利子の支払いに充てられる費用です。その 7 割が交付税で補填される過疎債が最も多くを占めています。



現在の十日町市役所

# 真剣に考えよう 合併について

34

## 十日町広域圏市町村 合併が県議会で議決、 合併が決定

県議会九月定例会に提案されていた十日町市、川西町、中里村、松代町及び松之山町の五市町村合併議案は、九月二十七日、県議会において議決されました。この議決により十日町広域圏市町村合併が決定したことになります。

これは、去る八月五日、五市町村が県知事に合併申請をしていたもので、県知事がこの申請を受け県議会に提案、県議会が合併の妥当性について審議決定したものです。県議会では、五市町村の合併とは別に中里村、松之山町に津南町を加えた三町村合併の動きにも触れ、慎重に審議した結果、決定されたものです。

今後、県知事が総務大臣に届出をし、総務大臣の告示により合併の効力が生じることになります。

合併まであと半年



この決定により市町村合併が現実のものとなり、平成十七年四月一日の合併期日まであと半年を切ることになりました。役場では現在、行政事務の統合調整を急ピッチで進めています。調整が広くまた細部については市町村によって取り扱いが異なるなど、調整には相当時間がかかっています。

行政組織については、第五回協議会で中間発表として概要が示されましたが、その後さらに調整が進み、現在、詰めの段階に入っています。住民への行政サービスが低下することがないように、かつ行政コストの削減と事務効率の向上が達成できるような組織が求められています。

### 来年四月一日から町役場は川西支所に、十日町市役所が本庁に

合併協定の中に新市の事務所位置についての事項があります。

すが、当分の間、現在の十日町市役所を新市の本庁舎とするこ



現在の川西町役場

ととし、現在の町役場は川西支所として残ることになっています。

### 新しいまちづくりに向けての懸念

現在の町役場は支所となり、戸籍・福祉・保健などの窓口業務、地域振興などの日常生活に必要な行政サービスは行っていきますが、新市の政策・企画・運営など市全体に関わることは本庁で行われることになり、周辺地域の声が届きにくくなるのが考えられます。また、地域

の個性や資源を生かしたまちづくりは、行政区域の広がりに伴い行政が主体となって実施していくことが困難になっていくことも考えられます。

### 公・民の協働による地域運営システムの構築

新市建設計画では、合併の不安をできるだけ解消していくために、新市の一体性の確保や地域間格差の是正に配慮したまちづくりを進めることにしています。

そのためには、行政と地域住民が一体となった地域運営が求められることになり、地域住民の積極的な参加が望まれます。

・各種計画策定等の住民参加の推進強化

・住民と行政の協働による地域づくりの仕組みの構築

・地区振興会、地区協議会の育成

・地区振興計画の策定を支援し、住民自らが地域づくりに関わる仕組みの構築

・新たな自治組織の創設の検討

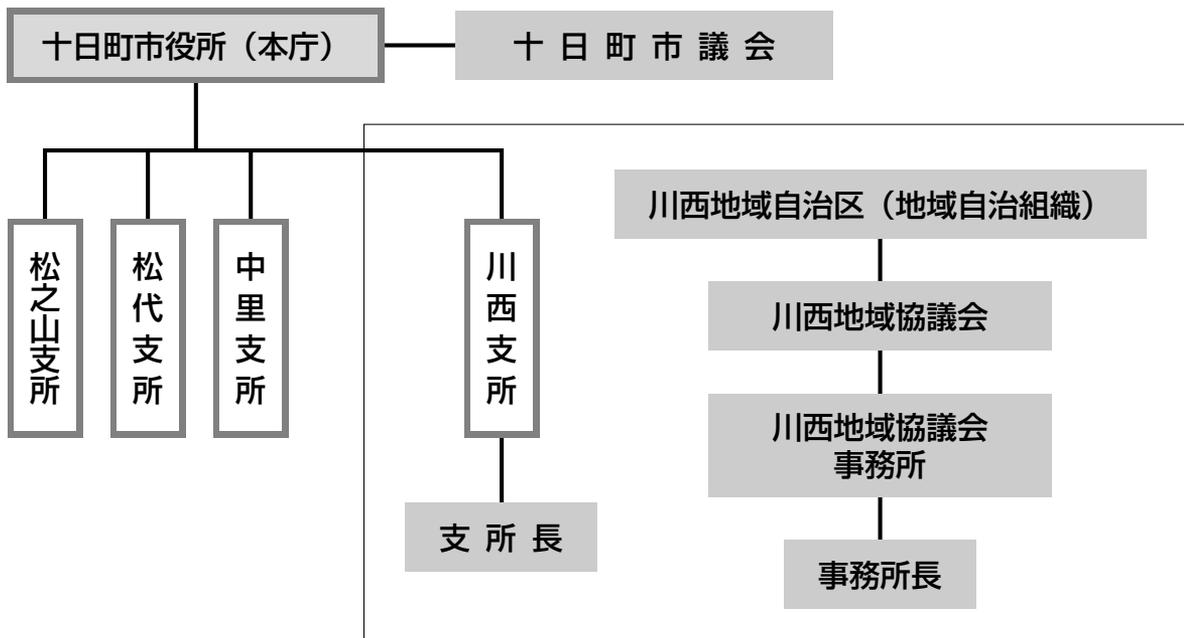
### まちづくりの仕組みを考える

こうしたまちづくりの仕組みについて、地域住民が一緒になって考えることが必要であり、そのために、部内で地域自治組織検討委員会を設けて協議しています。

現在、改正地方自治法下での要件を満たす地域自治組織を設置したいということで進めています。が、概ね次のイメージ図のような形を考えています。

今後、この組織づくりや地域づくりについて、住民のみならず話し合う機会を作りたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

### 組織のイメージ (案)



# 第8回 十日町市・川西町小学校 親善陸上大会結果



歯をくいしばって力走

9月28日、十日町市笹山陸上競技場で、第8回十日町市・川西町小学校親善陸上大会が開催されました。

※1位～10位までの上位3位を紹介します。ただし、10位までに町内小学校の入賞者がいた場合、それを含め上位3位とします。

5年男子			5年女子		
100メートル			100メートル		
③野沢健人(橘)	⑥丸山俊貴(千手)	⑦下沢佑介(千手)	①渡辺真央(川治)	⑥片桐 藍(千手)	⑦小山えりな(橘)
1500メートル			800メートル		
①斉木雄都(笠島)	②服部 玄(十日町)	③野沢健人(橘)	①水落さやか(笠島)	④小山えりな(橘)	⑥小海葉月(上野)
走り幅跳び			走り幅跳び		
①遠田 泰(川治)	④丸山俊貴(千手)	⑩小林翔太(上野)	①島田芽衣(吉田)	②古沢知奈美(笠島)	③星名香苗(千手)
走り高跳び			走り高跳び		
①田口敏樹(橘)	⑩内山弘章(上野)	⑩下沢佑介(千手)	②相馬由佳(橘)	④稲田 萌(千手)	④宮 優子(千手)
80メートルハードル			80メートルハードル		
①岩崎 領(十日町)	⑧南雲豪人(千手)	⑩柳 成彦(千手)	⑧高橋里香子(橘)		
400メートルリレー			400メートルリレー		
①川治小	②東小		①川治小	②東小	
④千手小(南雲豪人、丸山俊貴、渡辺一正、下沢佑介)			③千手小(稲田 萌、中條美月、星名香苗、片桐 藍)		
6年男子			6年女子		
100メートル			100メートル		
①岩田翔汰(中条)	⑤田村尚樹(上野)	⑦金井 壘(千手)	①高橋りほ(千手)	②樋口真央(仙田)	④柳まどか(千手)
1500メートル			800メートル		
①春日菖吾(吉田)	②庭野竜徳(十日町)	⑩羽鳥心之介(千手)	⑦佐藤理奈(千手)	⑧根津友子(橘)	
走り幅跳び			走り幅跳び		
①池田大介(十日町)	②星名陽太(千手)	⑥南雲陽介(千手)	①樋口真央(仙田)	④渡部亜紗美(橘)	⑨白井咲貴(千手)
走り高跳び			走り高跳び		
①矢口智士(十日町)	②庭野亨斗(十日町)	③小林直登(千手)	①重野美帆(東)	⑦渡辺綾音(上野)	⑧蔵品あやか(千手)
80メートルハードル			80メートルハードル		
④金井 壘(千手)	⑥田村尚樹(上野)	⑦秦野喜三彦(橘)	④高橋りほ(千手)	⑤丸山未彩紀(橘)	⑤田中千穂(橘)
400メートルリレー			400メートルリレー		
①十日町小	②水沢小		⑦柳まどか(千手)	⑨中村亜希子(千手)	⑩根津友子(橘)
④千手小(金井 壘、南雲陽介、関口優輔、星名陽太)			①千手小(佐藤理奈、田中佑希穂、柳まどか、高橋りほ)		
混成400メートルリレー			混成400メートルリレー		
①八箇小	②六箇小	③飛渡第二小	②東小	③十日町小	

九月十四日に招集された第八回川西町議会定例会は、十七日に全日程を終え、閉会しました。十四日は、諸般の報告、五人による町政に対する一般質問が行われた後、「国民のための郵政民営化反対を求める請願」の採択が可決されました。十六日は、平成十五年度川西町一般会計ほか六つの特別会計及び水道事業会計の歳入歳出決算が認定されました。十七日は、専決処分された平成十六年度川西町一般会計補正予算(専決第二号)が承認された後、三件の規約変更等が原案どおり可決され、平成十六年度川西町一般会計補正予算(第二号)ほか三件の特別会計補正予算及び水道事業会計補正予算(第二号)が原案どおり可決されました。続いて川西町教育委員会委員の任命同意が行われ、小海正隆教育長の任命が同意されました。その後、「公教育としての私立高校を守り発展させるため、私学助成の堅持を求める意見書提出について」ほか二件の発議案が可決されました。なお、議会の詳細は十月二十日発行の「議会だより」をご覧ください。



## 餓鬼山の話

上野から仙田へ行く国道で、松葉橋を過ぎた右側の山を（実際は沢になっていている部分が多い）、ガキ山・ガツキ山と呼んでいた。餓鬼山と書くのであるが、昔から死人の魂が残っている恐ろしいところであると語っていた。

この沢の下に行く国道で、死者の出るような交通事故が年々続いたので、「ガキ山に残っている古い怨霊が崇つているのではないか」と考えた元町の小林源吉さんが、長安寺の馬場ト樺和尚さんに願って、怨霊を鎮める読経をしてもらい、交通安全祈願と書いた大きな柱塔婆を道傍に立てたことがある。

もう三〇年くらいも前のことになるけれども、二年続きの供養で二本を立てていたから、当時のことを記憶している人がいるかも知れない。

昔の山越えの道は、元町から一本杉の立っていたところを登り、右に赤羽根を見て左にガキ山のヘツリ道を行く。雷電山の下を過ぎて上野峠を越えると、左は越ヶ沢へ右は赤谷へ下りていく柏崎街道であった。

後に茶店を出した人もあったが、大昔は人通りも少なく、追いはぎが出たりするような怖い

道であった。

出稼ぎ帰りの若者や、法事から帰る途中の尼僧が殺されたり、山犬が仲間になってとびついてくるから、一人旅をしてはならない道だと言っていた。

災難に遭った人たちの、怨みの思いがこもっているガキ山の沢には、殺されてけ落とされた亡骸が転がっていたという話を聞くと、背筋が冷たくなるようなところだった。

十日町市の猿倉では額山と呼んでいたし、中条八幡の山にもガキ山と呼ばれるところがあ

## おさんむらの話

（第四十二回）  
上野 上村政基

り、成仏できない死者の怨霊が集まっていて、気味が悪くて誰も入らない山だと話していた。

### 死人清水の地名

星名新田へ下りていく堀割の近くで、昔の柏崎街道に沿っているところに、死人清水と呼ばれる地名があった。

天明三年（一七八三）に浅間山の噴火があつて、翌年から大飢饉が続いた。

長福寺や長安寺の過去帳を見ると、例年の四倍以上も亡くなった人が書きあげられている。

仁田駐在所の傍にある地蔵は、現在「子守り地蔵」と呼ばれているが、もともとは飢えて亡くなった人たちの供養として、天明八年に建立したものだと言われている。

また、天保年間（一八三〇から）に続いた凶作は、八年間に六回の大不作を繰り返して、「申酉の凶年」と呼ばれる苦しい困窮の話が語り伝えられていた。

いつの飢饉であるかは分からないが、越ヶ沢の檀家で法事をするのに招かれた尼僧が、上野

へ帰ろうとする途中で、突然飛びだしてきた男に襲われて殺された。

犯人はすぐに捕らえられて処刑されたが、殺したときの様子を聞いた村の人たちは、そのむごたらしさに震え上がった。

空きつ腹を抱えて仕事をしていると、何事につけても面白くなくて腹が立ってくる。峠から下ってくる尼僧を見たら、法事のごちそうを腹いっぱい食ってきたのだろうと思うと、ムカムカッと気が高ぶって、夢中で鎌を振るって切り掛かった。

死んだ尼僧の腹を割いて、未消化の食物を引っ張り出し、傍らに湧き出ている清水で洗って食べたという。

その小さな清水は、昭和二十年ごろまで残っていた。



今の死人清水付近

### キツネの嫁入り

お盆の墓参りから帰る途中で、キツネの嫁入りを見ることがよくあった。

上野から元町を眺めると、長安寺の墓地に供えたローソクの火がきれいである。山を段々に削ったところに墓石が並んでいるから、真つ暗な中に浮かんだお花畑のようである。

すると、元町のムラの下手に、山すそを縫うように、チラチラ

ツと、小さな赤い光が動く。「あ、キツネの嫁入りだ」と、大人も子どもも声をあげる。ちよつと怖いような気もするが、足を止めて眺めていると、小さな火がだんだん増して一筋の列になる。

チラチラツ、チラチラチラツと、火は点いたり消えたりしながら、新町新田から元町の方へ少しずつ進んでいく。

家へ入ってから、もう一度見てみようかと外へ出ると、もう何ひとつ見えない。せいぜい、五分か二〇分間くらいのことであつたのだろうか。

狐火は、狐が吐く息が燃えるのだといわれていた。俳句の世界では、冬の季語にとりあげられているとも聞いた。

自然に発生した燐が火を発生するとの学説があつて、昔は土葬したところで、チロリチロリと燃える火を見たという話もあつた。人骨に含まれていた燐が炎を発生するのだという。

上野の共同墓地で、古い墓を改葬するときにあらわれて、近所の人たちを気味悪くさせたことがある。もう一〇年以上も前のことになる。

元町のキツネの嫁入りは、畑が整備され道路も改修されたためか、昭和二十年代からは見られなくなった。

# 還暦・古希・喜寿… おめでとう 祝米寿

九月二十日は敬老の日。今年も八十八歳(米寿)を迎えられた方、四人に町から敬老祝い品が贈られることになり、十九日、町長、助役、収入役が各世帯を訪問して直接祝い品をお渡ししました。お祝いを受けた方をご紹介します。

(順不同・敬称略)

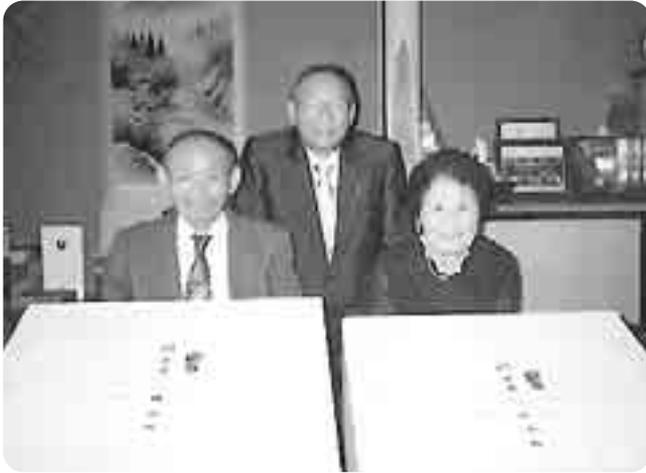
数藤進平(中島町)、丸山徳策(発電所通り西)、丸山テル(発電所通り西)、藤巻啓作(発電所通り西)、小林仁作(中央町)、北村栄作(中央町)、南雲サダ(田中町)、高橋キエ(田中町)、丸山ツル(神社町)、高橋兵治(中屋敷)、清水ヤス(中屋敷)、長谷川正巳(寺尾)、星名カク(沖立)、相崎キユ(沖立)、金子喜三郎(伊友)、引間喜作(坪山)、関口シイ(あかね園)、五十嵐スギ(あかね園)、根津睦子(上野)、上村タツ

(上野)、清水トヨ(上野)、土田初次(上野)、上村信栄(上野)、清水辰男(上野)、根津ナミ(元町)、押木イエ(元町)、押木三蔵(元町)、上村リク(元町)、高橋正一(三領)、小海末一(小根岸)、和久井ヤス(木落)、相馬伊勢吉(木落)、相馬カク(木落)、山崎マサ(寺ヶ崎)、藤巻タツノ(塩辛)、山口甚平(仁田)、須藤亮助(仁田)、野沢静江(野口)、丸山キク(原田)、田中義長(下原)、茂野チヨ(室島)、登坂ミイ(赤谷)、高橋清(赤谷)、登坂ハナ(岩瀬)

この「敬老の日」ですが、兵庫県多可郡野間谷村(現在の八千代町)の村長が提唱した「としよりの日」が始まりで、「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」と、昭和二十二年から、気候の良い九月中旬の十五日を「としよりの日」と定め敬老会を開いたのがきっかけで、これが全国に広がったといわれています。

川西町の今年の敬老会対象者(七十五歳以上)は、千手地区五三五五人、上野地区二七一人、橘地区二九二人、仙田地区二二七人の合計一、三二五人で、参加者は民謡・舞踊などの舞台を楽しんでいました。

多年にわたり社会につくし、二十世紀、二十一世紀と駆け抜けてきたみなさんの笑顔は、とても輝いています。



ご夫婦で米寿を迎えられた丸山徳策さん・テルさん(発電所通り西)



根津収入役と記念写真に収まる清水トヨさんとご家族のみなさん(上野)



押木助役から記念品を受ける須藤亮助さん(仁田)



ご家族や親せきに囲まれる茂野チヨさん(室島)

# 平成 16 年度 川西町長寿者番付

《平成 16 年 10 月 1 日現在》

(敬称略)

東						西				
氏 名	住 所	世帯主	生年月日	年齢		氏 名	住 所	世帯主	生年月日	年齢
田口キヨ	木 落	直 正	M36.1.7	102	横綱	小海クヨ	小根岸	益 男	M36.10.23	101
高橋ヒサ	中仙田	恒 平	M 37.3.4	101	横綱	根津英作	上 野	本 人	M37.12.21	100
星野ミン	野 口	勝 平	M 38.4.4	99	大関	高橋セキ	あかね園	本 人	M39.2.9	99
羽鳥イセ	あかね園	本 人	M 40.2.3	98	関脇	星名マサヲ	伊 友	和 幸	M40.9.27	97
中村チャノ	岩 瀬	昌 弘	M 40.11.15	97	小結	大井カツノ	寺 尾	佐 市	M40.12.2	97
北村セツ	東善寺	準 一	M 41.3.20	97	前頭	高橋チカ	あかね園	本 人	M41.4.1	97
関口トク	木 落	清	M 41.5.8	96	2	田口フジ	木 落	喜太郎	M41.9.14	96
今藤ミセ	上 野	琢 也	M 41.9.18	96	3	南雲マツ	中屋敷	利 夫	M41.9.22	96
田中利八	仁 田	春 吉	M 41.11.5	96	4	大井正司	美咲町	本 人	M41.12.13	96
小林フジエ	木 島	松 市	M 42.1.31	96	5	小川ソカ	上 野	昭 一	M42.4.25	95
小川ノブ	岩 瀬	充	M 42.8.8	95	6	桐生梅治	大白倉	本 人	M42.9.2	95
丸山フジ	あかね園	本 人	M42.9.15	95	7	真明キクエ	上 野	成 光	M42.9.18	95
小林セツ	中屋敷	英 一	M42.10.6	95	8	小林サワ	あかね園	本 人	M 42.11.8	95
高橋きつ	赤 谷	直 孝	M42.11.10	95	9	大井ミヨ	美咲町	正 司	M 42.12.17	95
高橋ハノ	中仙田	善 一	M43.1.28	95	10	星名佐平	伊 友	敏 雄	M 43.2.17	95
金子芳英	岩 瀬	敬	M43.3.22	95	11	佐藤ハル	あかね園	本 人	M43.4.1	95
須藤ミノ	下 原	博 英	M 43.5.12	94	12	市川トイ	中屋敷	松 男	M43.5.13	94
太田キイ	田中町	克 治	M43.7.24	94	13	田口誉治郎	木 落	静 雄	M43.8.15	94
水品トヤ	新町新田	成 良	M 43.8.31	94	14	田中スミ	発電所通東	本 人	M43.10.10	94
高橋政市	室 島	行 雄	M 43.10.10	94	15	星名スガ	伊 友	敏 雄	M43.11.25	94
数藤信善	沖 立	信 行	M 44.1.11	94	16	星名栄吉	伊 友	賢 一	M44.1.17	94
星名リセ	あかね園	本 人	M 44.1.22	94	17	丸山ナカ	新町新田	浩 司	M44.3.4	94
江口キミ	あかね園	本 人	M 44.4.6	93	18	小野塚テフ	上 町	司 朗	M44.4.11	93
高橋ハリ	朝日町	昭 吉	M 44.5.5	93	19	小林邦治	中仙田	貞 信	M44.5.28	93
高橋ヒデ	室 島	本 人	M 44.6.11	93	20	斉木ヨシ	小 脇	幸 威	M44.6.23	93
星名マス	伊 友	純 一	M 44.6.28	93	21	田中直江	下 原	久 義	M44.6.28	93
太田キヨ	田中町	正 志	M 44.8.2	93	22	田辺トモ	あかね園	本 人	M44.8.28	93
藤田サダ	根 深	義 幸	M 44.9.3	93	23	藤原トク	仁 田	芳 信	M44.9.19	93
太田トク	田中町	治 平	M 44.9.30	93	24	丸山タニ	木 島	幸 吉	M44.10.7	93
山崎ヨシ	中央町	芳 夫	M 44.11.19	93	25	増田クラ	室 島	嘉 一	M44.11.19	93
和久井クニ	木 落	伸 一	M 44.11.23	93	26	星野サヨ	発電所通西	勝 行	M45.1.10	93
小林セキ	中仙田	三千夫	M 45.1.16	93	27	高橋ハル	伊 友	芳 造	M45.2.12	93
富田イシ	栄 町	幸 二	M 45.3.18	93	28					

※平成 16 年 4 月 2 日から平成 17 年 4 月 1 日までの間に誕生日を迎えたときの満年齢

## 楽しかったよ！ 「橘を知る ハイキング」



屋号調査にはみんなが協力



屋号マップできたよ

九月二十六日、曇り空の中、約一〇〇人が参加して橘地区子どもを育てる会(平沢敏昭会長)主催の「橘を知るハイキング」が行われました。今回は、橘地区ビジョン検討委員会(藤巻義明代表)が中心になって、「このハイキングの中身を地域住民みんなで考えてみてはどうだろう」と、地域住民に声をかけてワークショップを繰り返し行いテーマを決めました。

その結果、「仁田で会う人すべてに話しかけてみよう!」「根深・下原の自然マップを作ろう!」「野口の屋号調査を行おう!」「各集落の天神ばやしを披露、保存しよう!」「郷土料理のけんちゃん汁を味わってもらおう!」「今回の活動の情報をどんどん発信しよう!」の六つのテーマで取り組むことになりました。

スタッフも子どもを育てる会の役員だけでなく、橘地区ビジョン検討委員会委員も含めた地区の皆さんがそれぞれの分野で活躍しました。

前半は、三コースに分かれてそれぞれのテーマごとにムラ歩きをし、お昼に郷土料理のけんちゃん汁をお腹いっぱい食べた後、橘と白倉の五集落の皆さんから、各集落ごとに節回しの少しずつ違う「天神ばやし」の披露がありました。

最後に、子どもたちが中心になって、それぞれのハイキングでの活動報告をし、内容盛りだくさんのイベントを終えました。

参加者の一人は、「地域の大勢の方々がスタッフとして活躍していたり、屋号調査では、農繁期の忙しい時期にもかかわらず、子どもたちが訪問するまで家で待っていてくれたりして、地域のつながりを感じました」と満足そうに話してくれました。

## ポーランドの テレビ局が 川西町の米と酒を取材



松乃井酒造場(株)ではカメラと喉(のど)で取材したとか…

9月28日、ポーランドのテレビ局が、「日本一のコシヒカリと酒蔵」を取材するために川西町を訪れ、生産組織による稲刈りや酒の醸造工程などについて取材・収録しました。

このテレビ局の取材班は、日本の伝統文化の紹介と現代人の健康の増進と安らぎを題材にしたテレビ番組を作るために、約1か月間、日本各地を訪れて取材しているものです。

プロデューサーのヤツック・ヴァンさんは、「今回の取材をとおして、米も酒も大変な行程を経て作られていることがわかり、日本の食文化を支えてきた人と自然の共存を感じました」と成果を実感して

いたようです。

取材に協力した柄沢和久さん(49・沖立)は、「世界が魚沼産コシヒカリを注目しているので、それに応えるよう努力したいですね」と、また、古沢実さん(41・上野)は「国内での消費が伸び悩んでいる中で、海外のメディアが日本酒を取り上げてくれていることは、大変ありがたいと思います」と話してくれました。

この日は、川西町が誇る食文化が広く情報発信され、食と農をめぐる産業がますます発展することを期待させる一日となりました。

## 稲刈り体験ツアーに 大勢参加



なかなか難しいなあ  
稲刈りって大変、でも楽しい

九月十八日、十九日にNPO魚沼ゆづき(山岸勝理事長)主催の「重い稲穂の稲刈りツアー」が行われました。

参加者は真人小学校の五年生、群馬県や東京都、京都府など遠方から約四〇人が集まりました。そして、晴天のもと、黄色に色づいた田んぼに入り稲刈りをしました。

田んぼの中は、鎌を持って稲を刈る人、刈った稲をくると回して束にする人など、慣れた手つきで教えるスタッフと、初めて稲刈りを体験する参加者の間で、楽しそうな声が飛び交います。

三時のおやつはアツアツの焼きいも。汗を流して稲刈りをした後の焼きいもは格別! 皆さんおいしそうにほおばっていました。

## 青年大会1・2フ イニッシュの巻

「実は、東京に行きたかったんです（笑）」。

九月十二日に川西町総合体育館で行われた第五十二回新潟県青年大会卓球個人（女子）で優勝した村越藍子さん（19・野口／写真右）と準優勝の江口優美さん（22・朝日町／写真左）は、異口同音に大会に参加した動機をそう話します。

村越さんは新潟市の高校をこの春卒業したばかり。東京には小学校に上がる前に行ったことがあるだけで、ほとんど記憶にないとのこと。

県で優勝すれば、東京で開かれる全国大会に出場できるので自動的に東京行きがかなうこととなります。村越さんはその夢を実現することができました。

「でも本当は、二人一緒に行くことができる団体で



はさすが。

村越さんは、小学校三年生から卓球を続けていて、高校のときには全国選抜にも選ばれています。

「今までは、『勝たなければならぬ』卓球をしてきましたが、これからは『楽しむ』卓球をしたいです」と村越さんがこれからの抱負を語ると、

優勝したかった」とのこと。というのも、江口さんは高校卒業後二年間東京の専門学校で学んできたので、ガイド役になれたからとか。

中学、高校と卓球部で活躍した江口さんは、中学校のとき北信越大会団体で三位入賞の立て役者。「三年間卓球から離れていたのだからカンがもどりませんでした」といいながらも、いきなり準優勝してしまう実力

江口さんは「私は、いろんなことにチャレンジしながら：卓球は徐々になが（笑）」と続け、二人そろってこぼれるような笑顔を見せてくれました。

「光の館」（江口さん）、「ひだまりプール」（村越さん）という新しい「町の顔」ともいえるべき施設で働くお二人は、まさにこれからが楽しみな「ニューフェイス」です。

## 体の協 窓

21  
川西町  
体育協会

### 第五十二回新潟県青年大会

去る九月十一日・十二日の二日間、十日町圏域を会場に全国青年大会の予選を兼ねた第五十二回新潟県青年大会が開催され、県内各地の代表による熱戦が展開されました。

川西町からも卓球、バスケ、トボール男子・女子が中魚沼郡代表として出場しました。

各種目の成果は、卓球は個人戦女子で優勝、団体戦が三位、バスケトボール男子は二位の村上市に惜敗しましたがベスト8、バレーボール男子・女子は善戦及ばず一回戦で敗退しました。

結果は様々でしたが、それぞれが日頃の練習の成果を存分に発揮し、熱戦を戦い抜きました。

川西町会場では、軟式野球・卓球がそれぞれ庚塚運動場・総合体育館で

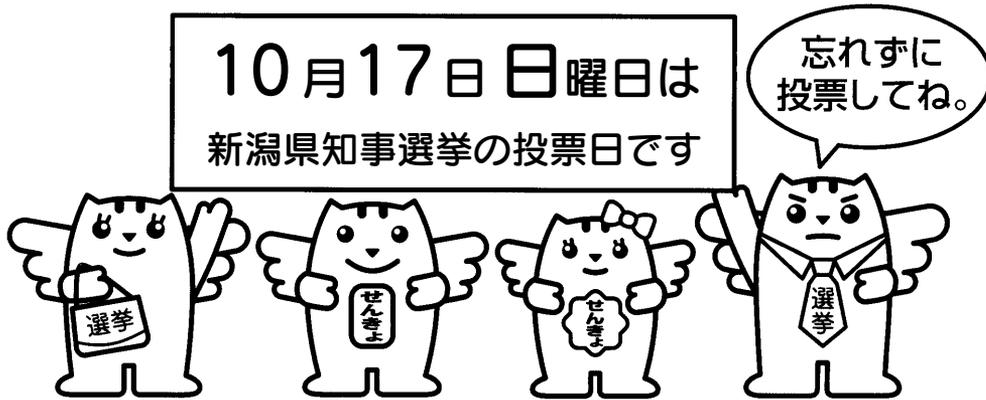


行なわれ、町野球協会、卓球協会からは大会運営、審判等に大勢の方のご協力をいただきました。二日間ありがとうございました。今回参加した選手だけでなく、これからもますます各種大会で大勢の選手が活躍することを期待しています。皆さんからも、ぜひ応援をよろしく願います。

●問い合わせ 川西町教育委員会  
内 川西町体育協会事務局  
(068-2167)

# 10月17日は新潟県知事選挙の投票日です

## 大切な一票です。忘れずに投票しましょう！



明るい選挙推進運動のイメージキャラクター「選挙のめいすいくん」ファミリー

任期満了に伴う新潟県知事選挙が10月17日に執行されます。投票は、町内16か所の投票所で行われます。投票時間は、午前7時から午後8時までですが、仙田地区の6か所の投票所では、投票所を閉める時間を1時間繰り上げ午後7時となりますのでご注意ください。

### ◆期日前投票◆

- 投票日に仕事や旅行などで投票に行けない人は、期日前投票をすることができます。
- 期間は、10月16日まで（土曜日、日曜日、祝祭日でも投票ができます）
- 時間は、午前8時30分から午後8時まで
- 場所は、川西町地域活性化センター4階第2研修室です。

### ◆不在者投票◆

- 次のような人は、不在者投票で投票をすることができます。
  - ・病院や老人ホームなどで投票する人
  - ・川西町の有権者で、仕事などの関係により他の市町村に滞在している人
  - ・投票日までに20歳になる人で、投票するときは19歳の人

■新潟県知事選挙についてのご照会は、川西町選挙管理委員会へお願いいたします。

電話 68-3111（内線 415 / 416） 直通 68-4962

第十九回  
かわにし雪まつり  
本まつりスタッフ大募集



平成十七年三月五日・六日に開催される「かわにし雪まつり」は、昨年同様、各地区で趣向を凝らした「ほんやら村（前夜祭）」と、楽しいイベント盛りだくさんの「本まつり」を予定しています。

事務局では、このうち本まつりのボランティアスタッフを募集します。

一緒に雪まつりを盛り上げてみませんか。大勢の皆様からの応募をお待ちしております。

■内容 かわにし雪まつり

「本まつりの準備・運営等」  
■応募締切 随時受け付けております。

■申し込み・問い合わせ

かわにし雪まつり実行委員会  
事務局（まちづくり推進課  
工観光係内）

☎ 68-4952（直通）

# 催し

## 《第九回かわにし自満祭のお知らせ》

今年もかわにし自満祭が、総合体育館、川西中学校等を会場に盛大に行われます。お誘いあわせのうえぜひ、お出かけください。

### 【町民文化祭】

#### 【かわにしビデオ上映会】

・期日 十一月六日～七日  
・場所 総合体育館

#### 【夢きやらばん自主公演】

・期日 十一月六日  
・場所 川西中学校

#### 【民謡とおどりの祭典】

【錦鯉品評会】

#### 【大なわとび大会】

【各種屋台】

#### 【ゆーゆーコンサート】

・期日 十一月二十三日  
・場所 商工会館

#### ■問い合わせ 役場総務課

☎68-4951

## 救急救命講演会のお知らせ

大切な人を助けられるのは、あなたかもしれません

「救急車が来るまでに、あなたは何かできますか」

この数分間が救命の時間です。救急車が通報を受けて現場に到着するまでの平均時間は五～六分です。この五～六分が患者の生命を大きく左右することになります。心臓停止の疾病者を三分間放置しただけで、死亡率は五〇パーセントとなり、五分後には更に悪くなります。疾病者の生命を救うには、近くに居合わせた人（バイスタンダー）が一秒でも早く適切な応急手当を実施することが必要です。バイスタンダーによる応急手当と一一九番通報、救急隊の救命処置、病院での救命治療、これらが連携して尊い命が救われます。ぜひこの機会に「救命」という言葉の持つ意味について一緒に考えてみませんか。

#### ■期日 十一月四日（木）

#### ■時間

〈開場〉午後五時四十五分  
〈開演〉午後六時

#### ■会場 十日町市市民会館大ホール

- 内容
- ◎第一部 消防職員による寸劇「緊急事態、救命を！」
- ◎第二部
- 〈講師〉「今、みんなができること 心肺蘇生法」
- 〈講師〉 新潟大学医学博士 本多忠幸先生
- 十日町地域メディカルコントロール協議会事務局
- 十日町地域消防本部警防課 急係

☎0257-57-0119

## 高齢者交通安全大会のお知らせ

郡市交通安全対策協議会では高齢者の交通安全意識を啓発し、高齢者事故の防止を図るために高齢者交通安全大会を実施します。多くの方からのご参加をお待ちしています。

#### ■期日 十月十六日（土）

#### ■時間 午後一時半～三時

#### ■会場 中条中学校 体育館

#### ■内容 交通安全講話、県警音楽隊演奏、交通安全体操

#### ■問い合わせ

生活環境課 防犯交通係

☎68-4961

## 第三五回中魚沼郡・十日町市錦鯉品評会

鮮やかな色彩と色調を兼ね備えた、「泳ぐ宝石」とも言われる錦鯉。毎年川西町から多くの錦鯉が出品され、優秀な成績を収めています。ぜひ、お気軽にお出かけください。

#### ■期日 十月二十三日（土）

#### ■会場 十日町市クロス10

#### ■一般公開 正午～午後三時

#### ■問い合わせ

農林振興課振興係

☎68-4954

## 家族介護者教室及び交流会のお知らせ



ご家庭で介護にあたっている方、介護に関心をお持ちの方、どなたでもご参加ください。

#### ■期日 十月二十六日（火）

#### ■時間 午後一時～三時

#### ■会場 川西町福祉センター二階 介護予防訓練室

#### ■内容

「家庭介護のコツと知恵」

介護実習他（おむつの当て方や衣服の着替え、部屋の消臭など）

#### ■講師 日本赤十字社 新潟県支部 榎本ハルイ様

#### ■参加費 二〇〇円

#### ■申し込み・問い合わせ

川西町在宅介護支援センター（あかね園内）

☎68-4565

## 『土木の日』ふれあい・体験パーク・とおかまちのお知らせ

#### ■期日 十月二十三日（土）

#### ■時間 午前十時～午後三時

#### ■会場 十日町ステージ越後妻有交流館「キナール」及び駐車場

#### ■内容

◎土木の仕事・現場紹介（パネル展示、測量器械等展示、実演コーナー）

#### ◎建設機械試乗体験

#### ◎高所作業者試乗体験

#### ◎除雪機械試乗体験

#### ◎災害救助犬訓練コーナー

#### ◎お楽しみコーナー

#### ■問い合わせ

十日町地域振興局地域整備部 計画調整課

☎57-5408

# 募集

## (社)あかね会施設長募集のお知らせ

健康で明るく、ボランティア精神に富み、福祉に理解と熱意を持ち施設経営等に精通し、また、施設利用者の方々に深い愛情をもって援助に当たる人を募集します。

### 勤務場所

十日町市大字高山一三六〇番地二

知的障害者授産施設(通所)(分場)「なごみの家」

■職種 なごみの家施設長

■採用人員 一人

### 受験資格

平成十七年四月一日現在において満五十七歳から六十二歳(昭和十七年から昭和二十二年生まれ)の者で社会福祉、介護保険関係に従事した者、またはこれと同等以上の能力を有し、施設を適切に管理運営する能力がある者であって採用条件を満たす者。

### 採用条件

・広域市町村行政圏域に住所を有し、通勤可能な者  
・自動車運転普通免許所有の人(取得見込み者も含む)

### 提出書類

・職員採用申込書(あかね会事務局に用意してあります)  
・免許、資格を有する証明書の写し

### 申込締切

十月二十九日(金)

■受付時間 午前九時～午後五時

■試験等 書類選考及び面接試験(日時・会場は本人に通知します)

### 申込書提出先・問い合わせ

〒九四八〇一〇二二  
川西町大字上野甲二八九六番地二

(社)あかね会事務局(知的障害者更生施設「なかまの家」内)  
☎0257-68-4013

## その他

### 結核対策特別促進事業(寝たきり者等かく痰検査)のご案内

寝たきり等で健康診断を受診することが困難な方を対象に、かく痰による結核菌検査を実施します。検査は無料です。

■申込締切 十月二十日(水)

### 問い合わせ

けんこう支援課健康推進係  
☎68-4958

## 十月は里親月間です

近年、児童虐待などで家庭に恵まれない児童が増えていきます。こうした児童の多くは、児童福祉施設で暮らしていますが、児童の健全な成長にはあたたかい家庭での生活が欠かせません。このため、児童福祉法で家庭養育制度が設けられ、児童の幸せのために、「里親制度」が大切な役割を果たしています。

里親には養育里親、短期里親、親族里親、専門里親の四種類があり、児童の状態に合わせて、里親の家庭を提供頂くことになります。

里親制度について詳しく知りたい方、左記へお問い合わせください。

### 問い合わせ

新潟県六日町児童相談所  
〒九四九一六六二三  
南魚沼郡六日町大字六日町六二〇一  
☎025-770-2400

## スプレー缶などの出し方についてお願い

一、ごみ収集車内で、カセット式ガスボンベ(卓上コンロ用)

及びスプレー缶などが原因と思われる収集作業中の発火事故がおきています。スプレー缶は使い切ったら必ず穴を開けて鉄アルミ類の資源物収集日に出してください。

「使用済みライター」は、ガスを抜き取り埋め立てごみとして出してください。

二、埋立てごみの中に資源物に分類されるもの(鉄アルミ缶類・清涼飲料水などのビン)が混じっています。資源物を出すときは、「ラベル、汚れなどをとって」きれいにしておいてください。

三、ごみを出すときは、収集カレンダー、ごみ便利帳をよく見て分別して出してください。ようお願いします。

### 問い合わせ

生活環境課 環境衛生係  
☎68-4961

## 日本全国どここの現場でも「建退共制度」

建設現場で働く方々の退職金は安全・確実・有利な「建退共制度」をおすすめします。

☆建設事業主のみなさまへ  
☆申込手続きは簡単です。(加

入費に経費はかかりません)  
☆経営事項審査で加点されます。  
☆掛金は全額非課税で国が一部を補助します。

【建設現場で働くみなさまへ】  
☆建退共の手帳を持っていますか?

☆事業主が変わっても退職金は通算して計算されます。

■問い合わせ  
新潟市新光町七一五  
新潟県建設会館内  
建退共新潟県支部  
☎025-285-7117

## 《お尋ねします》

稲を架ける「パイプはぎ」を捜しています。

### 問い合わせ

NPO魚沼ゆうき  
☎68-3760

### お詫び

九月二十日発行のお知らせ版五ページのパソコン講習会受講者募集の問い合わせ先電話番号が誤っていました。

正しい電話番号は、68-2167です。

大変ご迷惑をおかけしました。

先月号では、夏季休業中に実施した『総合的な学習の時間』の内容をお知らせしましたが、今月は一学年の「ボランティア体験活動」と「ソバまき」「救急救命法講習会」について、生徒の体験日誌を紹介したいと思います。

一年生は、中学卒業から四か月ほど経過しましたが、精神的に未熟なところもあり、ご協力をいただいた町内の保育施設、各福祉施設の皆様方に、ご迷惑をおかけしたところが多々あったのではないかと思います。

しかしながら、丁寧な指導をいただき、生徒たちにとって貴重な経験となりました。今回は、『ボランティア体験レポート』を個人で記録してありましたので、いくつか紹介したいと思います。

## 思ったより人なつっこくて

◆《千手保育園・体験日誌より》

一日目は、子どもたちが自分になつてくれるか心配でしたが、思っていたよりも、人なつ



っこくてビックリしました。そして子どもたちも溶け込みやすく、昼寝に時間がかかりましたが、最後はみんなが寝てくれて良かったです。

また、保育士の先生方にも進んでお手伝いすることが出来ました。子どもたちともいっばいお話ができて楽しかったです。疲れましたが楽しい一日でした。

二日目はあまり疲れることなく、お手伝いできました。そし

てチューリップ組の子どもたちも早く寝てくれたので良かったです。まだまだ手のかかる子どもたちでしたが、私の言ったことを理解して分かってもらえるので、できるだけ、しっかり教えるようにしました。すごく楽しい二日間でした。

◆体験から学んだこと◆

- ・悪い行いは子どもの気持ちになつてわかりやすく教えることにより、次の良い行いに、つながること。
- ・出来なくて困っている子どもがいたら、出来るように少しずつ助けてあげること。
- ・いろいろな活動に積極的に参加すること。

・先を読んで行動し、保育士の先生方を困らせないように、お手伝いすること。

◆体験を終えて・・・◆  
最初は、すごく緊張して何を

したらいいのかわからなくて困りました。でも、子どもたちの人なつっこさに助けられて、楽しく遊んだり、昼寝をしたり、おやつを食べたり出来て、すごくうれしかったです。後半は、年少組でお手伝いしましたが、自分で思っていたより子どもたちが何でも出来るので、びっくりしました。（手助けは少しだけで十分でした。）

この二日間は保育士さんや子どもたちにいっぱい助けられました。いながらできたボランティアだったような気がします。そして、たくさんの方の話を学ばせてもらいました。

心に残るような貴重な体験をどうもありがとうございました。

## 自立度の高きゴブツクリ

◆《なごみの家（分場かわにし）体験日誌より：体験を終えて・・・》

障害者施設ということでしたので、介護を中心にするのかと思っていました。施設利用者のみなさんの自立度が高く高いのに驚きました。

自分のことは全部自分で行っていたので、障害を持っている方々を『障害者』とひとまとめ

にしていた自分が、恥ずかしくなりました。たぶん、この施設利用者の方々は、一般の高校生よりよほど強く、また頑張っているのだらうなあ、と思いました。とても疲れましたが、すごく勉強になる体験でした。

## 互いに相手を思いやる

◆《ファミリー川西（あかね園）体験日誌より：体験を終えて・・・》

二日間の体験を終えて、老人介護やボランティアの大切さや難しさが分かりました。ファミリー川西では一日に約三〇人強の人が、曜日ごとに代わる代わる施設を利用して、数人のヘルパーさんたちが、介護をするとのことでした。

今回の体験で学んだことは、老人介護は介護する側の一方的なものではなく、介護する方、される方が、互いに相手のことを思いやり、痴呆の症状が多少あったとしても、軽く見るのではなく、人間としての人格を尊重することが大切だということです。

二日間の体験は本当に価値のある貴重なものでした。施設職員の方たちと一緒に仕事をしている時と、高齢者の方々と交

流している時とでは、物事の見方や感じ方が全く違い、相手に対しての考え方も違い、少し戸惑ってしまいました。

日本で問題になっていいる高齢化社会は若い年代が協力して対応していかなければいけないと、切実に思いました。

## デッキブラシで?!

### ◆《ソバまきレポートより》

数十分という短い時間でしたが、ソバの種まきを体験して、通常の授業ではできないことを体験することができました。

種まきでは、いつも身近にあるデッキブラシを使って作業することに驚きました。手順も簡単で、暑い中でしたが、誰でもできる作業なので、またしたいと思いました。



その他にも、ソバの種まき方は一つだけでなく、何種類もあると聞きました。今回は一つの方法で種まきをしました。機会があれば、また別の方法でソバの種まきを試みたいし、これから「そば」について、もっと詳しく調べたいと思います。

最後に、ソバが実るまでしっかり世話をしたいです。そして、できあがって食べるときも、みんなと協力して楽しく食べられるようにしたいです。

## ひとりでも多くの人を

### ◆《救急救命法レポートより》

救急救命講習を受けて、人工呼吸のポイントを押さえて人命救助をする『心肺蘇生法』の手順を学びました。

まず、あわてずにその場の状況を読み取り、次の行動を考えて取りかかると。次に、傷病者を見つけた場合、意識を確認すること。声を出して一八九番の要請をし、意識が無い場合は、救急車が来るまで心肺蘇生法を行うこと。

- 一、気道の確保
- 二、呼吸を調べる
- 三、人工呼吸
- 四、循環のサイン
- 五、心臓マッサージ



### 六、循環のサイン

など、初めてのことはばかりですごく戸惑いました。でも、やさしく教えていただいていた気持ち、落ち着きました。私たちが、そのような場面に遭遇した時は、まず落ち着いて周囲の状況を確認して、自分のできる限りのことをして、ひとりでも多くの人を助けられたらいいと思いました。

以上、二回にわたり『総合的な学習の時間』に生徒たちが体験した内容です。

来年度も川西町の皆様方にご協力をいただきながら、さらに豊かな経験ができるような内容にしていきたいと考えています。これからも、よろしくお願ひします。

## チームアップ 役田場 41

### 期日前投票をするワケ



今月十七日はご存じ新潟県知事選挙投票日。

告示日は九月三十日で、翌十月一日から期日前投票（不在者投票を含む）が始まりました。その十月一日の午前八時三〇分、投票所には真っ先に期日前投票をする若手職員二人の姿がありました。

選挙当日、ほとんどの職員は投票所業務に従事するため、自分の所在投票所の担当にならない限り期日前投票を済ませておく必要があります。

この二人のように、開始と同時に投票を済ませる職員もあれば、投票日直前になるま

で悩んで？投票しない者もありません。

どっちが選挙管理委員会に喜ばれるかって？ そりゃあもちろん、前者に決まっています。その分事務処理が早く進められますから。

で、写真の二人ですが、これまでこんなに早く期日前投票をしたことはありません。ましてや二人そろってなんて。それがなぜ…。

この二人の間に何かを感じた人、正解です。分からない人は、今月号の「戸籍の窓から」(P23)を熟読してください。



います。

魚を放し、低

学年から順番に

素手で騒ぎなが

ら、イワナ、ウ

ナギ、ニジマス

を霧中で追つか

けっこ、どちらが速いか競走で

す。つかんだ子どもから、プロ

の板前さんに教わりながらさば

いて、炭火で焼きました。

私は、子どもが元気にはしゃ

ぐ姿を見てうれしければかりで

す。

そして、青空の下豚汁とおに

ぎりで昼食。自分でつかんだ魚

の味は格別でした。食後は、魚

のクイズで頭の体操です。

川で遊ぶことが少ない現在、

思い出に残る充実した夏休みの

一日でした。親子で参加させて

いただき、本当にありがとうございました。

## 魚つかみ大会 に参加して

《小林典子さん(新町新田) 発》

八月二十二日、上野地区子

どもを育てる会主催の夏

休みイベント「魚つかみ大会」

に参加しました。



当日は晴天に恵まれて予定時  
間より早く子どもたちも集ま  
り、魚の到着を今か今かと待つ  
子どもたちの顔はきらきらして

幼児への予防接種が開始さ

れてから、風しん患者数は減

少しました。しかし、その一

方昨年から複数の地域で局地

的な流行が認められています。

この傾向は今後も続くも

のと予想されています。

風しんは、基本的には予後

良好な病気です。大人がかか

ると子どもより重症になる場

合が多いといわれています。

妊娠初期の女性が風しんにか

かると、風しんウイルスが胎

盤を介して胎児に感染し、出

生児が先天性風しん症候群を

発生することがあります。

○先天性風しん症候群と

は・・・

先天性風しん症候群は、白

内障、先天性の心臓病、難聴

が主な症状で、特に妊娠二か

月以内の女性が風しんにかか

ると、これらのうち二つ以上

持つて生れてくることが多く

なります。その他、子宮内

での発育が悪い、網膜の病気、

緑内障、小頭症、髄膜炎、精神

運動発達に遅れがある、肝臓

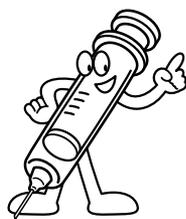
やひ臓が腫れる、血小板減少

性紫斑病などの症状が出生児

に認められる場合があります。

風しんウイルスによる感染  
症です。発熱とともに全身に  
淡い発疹が現れます。その他  
の症状としては、耳の後ろや  
頸部あるいは後頭下部のリン  
パ節が腫れることも特徴で  
す。通常三日程度で治ること  
が多いことから「三日はしか」  
とも呼ばれています。

## 先天性風しん症候群の 発生を予防 しましょう



れています。感染力は麻しん、  
水痘よりは弱く、潜伏期間は  
十四～二十一日間です。発生  
は春から初夏に多く、幼児か  
ら小学校低学年によく見られ  
ます。

○先天性風しん症候群を予  
防するには・・・

個人予防のためには女性が  
ワクチン接種を行って免疫を  
確保することが必要です。妊  
娠中の女性をウイルスから守  
るためには、男女ともにワク  
チンを接種し、社会における  
風しんのまん延を防ぐことが  
重要です。

これから妊娠する予定のあ  
る女性やご家族で、風しん  
にかかったことのない方、予防  
接種を受けたことのない方  
は、これから生れてくるお子  
さんのために、妊娠する前に  
予防接種を検討しましょう。

また、風しん罹患歴・接種  
歴が不明の場合は、風しんに  
対する抗体検査を受けるなど  
してください。

妊娠可能年齢の女性が予防  
接種を受ける場合は、接種時  
に妊娠していないこと、接種  
後二か月間は妊娠しないこと  
が必要といわれています。

基本的には予後良好な病気  
ですが、まれに突発性血小板  
減少性紫斑病や脳炎などの重  
篤な合併症を引き起こすこと  
があります。飛まつ(つば等)  
により感染し、発疹出現の前  
後一週間に感染性があるとさ

# 善意

(敬称略)

広報発行に  
山賀規司(十日町市) 二万円  
一般に  
株川西工業(伊勢平治) 二十万円

## 高砂—ご円満に

山田裕二 南魚沼郡六日町  
五十嵐真紀 栄町  
村越広太郎 野口  
藤巻輝美 発電所通り西  
(9月1日〜30日届け出順)

## 戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

柄沢悌二 74(本人) 沖立  
星名フミ 97(本人) あかね園  
水落サイ 83(三夫) 仁田  
土田初次 88(正男) 上野

うぶ声—おすこやかに

柳 柚季 和子 四郎兼  
中川南都 紀直也 みのり団地

## かわにし俳壇

高崎正風選

枝豆にビールの泡をなつかしむ  
雀の子庵の小庭に親しみて  
手枕にかかるき疲れや秋の雨  
秋晴や静かに豆のはねる音  
元町 田畑 吉治  
敬老と祝われる日の案内来し  
天地人義を悟す書を読む夜長  
これよりは一日一日の虫浄土  
霜糸 星名 星光  
白寿叔母じつと見てをり虫の闇  
目を閉じて白寿の叔母や鉦叩

うそ寒や目を閉じて待つ齒の治療

上町 高橋 願似

曼珠沙華彼岸来たよと咲きにけり  
見上ぐれば今日子燕の姿無し

秋日和青首大根良く育つ

八王子市 松浦 サク

大根の二度目の間引きしておりぬ

赤とんぼ羽を休めに止る竿

落栗の山の恵を拾いけり

大倉 中條 石平

延命の無用と書いて爽やかに

茗荷の子着いたと友の電話かな

八十九八十一の爽やかに

新町新田 若山 清子

生かされて大根恙なく蒔けり

菜を間引く伸びよ太れと声かけて

百姓の嬉しさ間引菜のうまし

小白倉 江口みゆき

農日記今日の初数記し閉ず

日曜の農継がぬ子も稲を刈る

田を巡り明日刈る稲を撫でて見る

すててここに稲田の風のやわらかく

語らひもいつかごろ寝や夜の秋

小白倉 田中 優美

新町新田 若山 向山

足音に零余子ぼろぼろこぼれけり

秋の灯のありてふるさとありにけり

秋の風長き廊下を吹き抜けけり

秋彼岸留守預りて老一人

田中町 石沢 澄代

コスモスの色とりどりに揺れてをり

秋なれば体きたえて学ぶかな

野口 村越 こう

彼岸花咲いて御佛迎えけり

野佛に誰が手向けし彼岸花

岩瀬 登坂伊智子

田の堰に風渡り来て水澄める

十月の風風鐸を鳴らしけり

足立区 涌井ハル子

窓に見る音の遅れて遠花火

秋つばめ渡る準備か空を舞う

野口 高橋 波京

丹精を込めしワインの葡萄摘む

初物の間引き菜なれば御仏に

霜糸 蔵品ハツエ

一枚の紅葉を入れて便り出す

萩の花こぼるる寺の大殿若会

野口 村越 由喜

## 休日救急医

10月17日 山口医院  
(十日町市袋町中)  
☎52-2174  
24日 大熊内科医院  
(十日町市山本町1)  
☎52-7066  
" 中条病院  
(十日町市北原)  
☎57-3018  
31日 山口医院  
(十日町市下条中央)  
☎55-2003  
11月3日 大坪医院  
(十日町市四日町新田)  
☎57-6100  
7日 庭野医院  
(十日町市寿町4)  
☎52-2711  
" 津南病院  
(津南町大割野)  
☎65-3161

## ■表紙の写真

橘小学校での給食風景の一コマです。どんな世代でも食事は楽しいものです。そして、その食事がどんな材料でどうやって作られているのかを知ると、もっとおいしくなります。

## ???クイズです???

「2003 町勢要覧」に記載されている内容を中心にクイズを出しています。

<昭和33年7月に創刊された広報紙の名称は?>

ヒント: 全戸配布した町勢要覧をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り… 10月22日(金)

## <9月号の答え>

「昭和31年9月1日」

今回は、正解者の中から抽選で、次の方々に記念品をプレゼントします。(敬称略)

星名来紀(元町)、田中清一(木落)、中島利男(東京都)、田口和子(木落)、高橋敦史(坪山)



「腹へった」  
2年生 星名里香



「遅刻」  
2年生 星名勇佑



「ごちゃませ」  
3年生 高橋征也



「本当にあったおいしい話」  
2年生 櫃間香帆

（11月号は千手小学校です）



「虹色の花吹雪」  
3年生 藤巻友佳



「1」～思い出～  
3年生 渡辺響子

昨今のそばブームに水を差すような二年続きの不作だったが、今年は今のところ順調に育っているようだ。新しい品種の作付も今年は大分増えたし、そば打ちの講習会も開かれる。折しも、十日町市をはじめ県内外のそばどころで「そばまつり」が多彩に開催されている。自分で打つても店で食べても、そば好きにはうれしい「時」を迎えた。



そばの花が見事に咲いた。一昨年は、収穫直前に降った初雪が大雪になり、ほとんどのそばが雪につぶされた。昨年は夏から秋にかけて長雨が降った。水気を嫌うそばには最も悪い条件となり、転作のそばはほとんど収穫にならなかった。

● かわにしそば ●

